



ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE

2017～18年度テーマ

中村ロータリークラブ

例会記録 (2017～2018)

会 長/松 田 基	創 立/昭和38年10月 2 日
幹 事/荒 川 泰 士	例会日/水曜日 12:30～13:30
会報委員長/星 野 努	例会場/新ロイヤルホテル 四万十 事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F
	TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553
	●ホームページ http://www.nakamura-rc.com/

週報 No.2504

第2635回 平成29年 8 月 2 日 (晴れ)

本日のプログラム：新会員スピーチ 兵等 剛会員

8月9日(水) のプログラム：会員スピーチ 梅原 薫会員

8月16日(水) のプログラム：休会 (定款第6号第1節)

【会長挨拶】 松田会長

- ・連日の猛暑ですが、皆様体調にはくれぐれもご注意ください。昨日、幡多3クラブの会長幹事会を行いました。
- ・トランプ氏の大統領就任から半年が経過しましたが“混沌の時代”のタイトルで一言。トランプ政権の議会对策の失敗や政権運営の混乱で国際政治における米国の存在感が急激に失われ、期待が剥落している。
- ・北朝鮮が専門家の予想をはるかに超えるスピードで米大陸を射程に収める大陸間弾道ミサイルを完成させようとしている。
- ・国内では歴代最高支持率を維持していた安倍政権が7月に入って最低水準まで急下降した。
- ・最近では、米国抜きの世界といわれるようになり、中東・アフリカからの難民急増問題に加え英国の離脱問題でEUも対外的な影響力を急速に低下させている。少なくとも200年続いた欧米支配の潮目が明確に変わった。世界は「混沌の時代」に突入したといっていだらう。日本は今後、どう対応すべきか難しい問題である。

【幹事報告】 荒川幹事

- ・ガバナー事務所より
 - 1) ガバナー月信No.8
 - 2) 第3ゾーンの伊藤文利コーディネーター補佐より会員増強セミナーに活用するアンケート回答のお願い
 - 3) 九州北部豪雨災害への義援金のお願い
- ・米山記念奨学会より
財団設立50周年記念式典のご案内
2018年2月4日 (日) グランドニッコー東京
- ・高知RCより
創立80周年記念式典のご案内
10月7日 (土) 山翠園
- ・高知分区ガバナー補佐より
会員名簿の再校正のお願い

【会員発言】

■白木 (久) ロータリー財団委員長

本日、5名の方に寄付金をいただきました。このペースで行けば11月には100%達成するのではないのでしょうか！

皆様の寄付お待ちしております。



【本日のプログラム】 新会員スピーチ 兵等 剛会員



私は高知新聞に入社してこの春、丸30年となります。入社後は警察回りや高知市役所担当などを経て、社内事情により89年6月15日という半端な時期に安芸支局へ赴任しましたが、この年は次々と大変な事が起こりました。

実は春の人事異動対象ではないことを確認して、古い借家に新たな所帯を構え5月に結婚したのですが、新所帯の暮らしも突然3カ月で強制終了。安芸支局赴任翌月の7月には安芸市長が運動のパレード中に心臓発作で急死しました。地理も地域事情も分からないまま、降ってわいた市長選挙に突入。8月末には芸西村で2時間に220mmのもの豪雨となり、ビニールハウスが倒壊・水没するなど甚大な被害が出ました。9月初旬にやっと市長選を終えましたが、選挙と災害取材の同時並行という、入社3年目の自分の限界をはるかに超えた忙しさは今も忘れることができません。

その後、状況もやっと落ち着き、4年近く安芸で過ごしました。阪神タイガースが新庄・亀山ブームで、キャンプ地が一時沸いていたことなどを思い出します。

93年春に本社の編集部へ異動となりました。記事の格付けや見出し、紙面のレイアウトを担当する内勤です。取材記者とはひと味違った面白み、やりがいがありました。

編集部の仕事で心を砕いたのは、苦難に直面した方々に寄り添う紙面展開です。阪神大震災や東日本大震災、先の九州豪雨などの被災地に対し、悲痛な叫びを見出しや写真にかぶせて、読者の皆さんと共に考える紙面を届けようと努めました。

その思いは1998高知豪雨や2001年の西南豪雨など県内の災害の際、いっそう強く感じました。

もう一つ、編集部には宿命のテーマがあり、最終締め切りの24時との闘いなのです。先日、獄中のノーベル平和賞受賞者、劉曉波さん死去の一報や、北朝鮮が夜中に弾道ミサイルを発射した時などでは、それまで1面にあった記事を別の面に移す必要がありますし、時計をにらみながらの殺気だったスリリングな作業となります。

幡多支社長の辞令を受け、40年ぶりの中村暮らしとなって、毎晩迫り来る24時との闘いから解放されてみますと、時間がとてもゆっくり流れているように感じます。

家での晩酌や外でのお誘いもあるなか、“おきゃく”は極力断らないようにしています。何曜日でも何時でもどこへでも出向いて参りますので、飲む伽がおらんという方、遠慮なくご連絡ください。ただし、飲みたがる割にそう強くはないですが、よろしく願いいたします。

こちらに来て改めて思うのは地域に根差し、しっかり寄り添っていかねばならないという点です。よくあんなネタをキャッチできたね、などと声を掛けてもらうケースがありますが、それは地域の皆さんの声かけがあつてこそです。その背景には高知新聞に対する期待感や信頼感があるのではないかと思います。少子高齢化が進む中、我々もそんな思いにこたえて共に悩み、共に歩む姿勢がますます重要になると考えています。そのためには我々は日頃からあちこちに顔を出して信頼を得られる努力を重ねていく必要があります。

先日の太陽館解体の記事、中村高校の校歌の新音源など、地域に密着し地域の活力となるような灯火を高知新聞紙上にたくさんつけていくために、皆さんから幅広く叱咤激励を賜りますようお願い申し上げます。僕の新任スピーチとさせていただきます。ご静聴ありがとうございました。

【ニコニコ箱】

福原会員：久々のコンペ出場にて、優勝できました。馬まで一人取りですいません。

賞金はしっかり青木会員に徴収されました。

【出席報告】 ・会員総数48名（免除会員5名）

・本日の出席/31名 70.45%

・先週の訂正はありません。